



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社

コード番号 4914

URL <https://www.takasago.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 平田 裕康 (TEL) 03-5744-0523

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	66,165	14.2	3,868	△2.0	4,244	5.6	3,245	14.6
2026年3月期第1四半期	57,943	4.5	3,948	△1.7	4,017	△28.3	2,833	△27.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 6,834百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △660百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	33.29	—
2026年3月期第1四半期	29.07	—

※ 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	285,091	159,680	55.2
2026年3月期	271,147	156,051	56.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 157,233百万円 2026年3月期 153,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	120.00	—	28.00	—
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金合計については株式分割の実施により単純合算ができないため表示しておりません。なお、株式分割を考慮した場合の2026年3月期第2四半期末の配当金は24円となり、年間配当金は52円となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	6.6	11,000	35.3	11,500	20.9	9,400	△1.3	96.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	100,761,985株	2026年3月期	100,761,985株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,265,935株	2026年3月期	3,265,935株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	97,496,050株	2026年3月期1Q	97,451,745株

※ 当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2026年3月期1Qの期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東情勢等の影響を受け一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しました。

海外経済につきましては、一部に弱めの動きもみられるものの、総じて緩やかに成長しました。今後のわが国経済の見通しにつきましては、中東情勢の影響を受けた原油価格上昇が景気の下押し要因となるものの、今後も緩やかな成長が見込まれます。今後の中東情勢の展開が、金融・為替市場やわが国の経済・物価に及ぼす影響をとくに注視する必要があります。

香料業界においては、世界経済の成長に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-2 (NGP-2)』(2024-2026年度)を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、66,165百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業利益は3,868百万円(前年同四半期比2.0%減)、経常利益は4,244百万円(前年同四半期比5.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,245百万円(前年同四半期比14.6%増)となりました。

部門別では、フレーバー部門は、当社やドイツ子会社において飲料向け香料が堅調に推移し、売上高は34,780百万円(前年同四半期比8.7%増)、営業利益は2,499百万円(前年同四半期比2.2%増)となりました。フレグランス部門は、フランス子会社においてファインフレグランス向けが好調に推移した他、シンガポール子会社においてホームケア向けが好調に推移し、売上高は21,938百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。また、原材料価格の低下により利益が良化し、営業利益は784百万円(前年同四半期比137.7%増)となりました。アロマイングリディエーツ部門は、当社において合成香料中間体の出荷が堅調に推移し、売上高は4,873百万円(前年同四半期比18.0%増)となりました。一方、海外子会社において減収、原価率が悪化したことにより、営業利益は770百万円(前年同四半期比24.9%減)となりました。ファインケミカル部門は、医薬品中間体ビジネスにおいて、主要得意先への出荷が再開し、米国子会社において増収となったことにより、売上高は4,221百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。一方、当社において減収となったことにより減益となり、営業損失は501百万円(前年同四半期は営業損失149百万円)となりました。その他不動産部門は、売上高は351百万円(前年同四半期比0.0%減)、営業利益は315百万円(前年同四半期比6.4%増)となりました。

セグメントにつきましては、日本は、フレーバー部門において飲料向けが堅調に推移し、売上高は21,724百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は1,076百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。米州は、ファインケミカル部門において、主要得意先への出荷が再開し、売上高は16,868百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。一方、売上総利益率の低下により、営業利益は149百万円(前年同四半期比72.7%減)となりました。欧州は、ファインフレグランス向けが好調に推移しました。また為替の影響もあり、売上高は12,812百万円(前年同四半期比27.9%増)となりました。一方で新基幹システム導入に伴う販管費の増加等により、営業利益は651百万円(前年同四半期比14.0%減)となりました。アジアは、シンガポール子会社においてフレグランス部門が好調に推移し、売上高は14,760百万円(前年同四半期比16.4%増)、営業利益は2,170百万円(前年同四半期比25.6%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して13,944百万円増加し、285,091百万円となりました。主なものは、受取手形及び売掛金の増加10,257百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して10,315百万円増加し、125,411百万円となりました。主なものは、支払手形及び買掛金の増加6,104百万円、短期借入金の増加4,941百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して3,629百万円増加し、159,680百万円となりました。主なものは、その他有価証券評価差額金の増加2,091百万円、為替換算調整勘定の増加1,251百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,578	17,309
受取手形及び売掛金	53,476	63,734
電子記録債権	3,098	3,397
商品及び製品	35,029	36,542
仕掛品	199	269
原材料及び貯蔵品	31,642	32,167
その他	5,725	6,664
貸倒引当金	△405	△422
流動資産合計	148,345	159,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,104	37,641
その他（純額）	46,438	46,487
有形固定資産合計	84,542	84,129
無形固定資産	5,509	5,294
投資その他の資産		
投資有価証券	23,750	26,898
その他	9,528	9,633
貸倒引当金	△529	△527
投資その他の資産合計	32,749	36,005
固定資産合計	122,802	125,428
資産合計	271,147	285,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,644	24,749
短期借入金	32,338	37,280
1年内返済予定の長期借入金	8,001	8,001
未払法人税等	1,789	1,610
賞与引当金	2,363	1,253
役員賞与引当金	59	14
その他	15,807	16,068
流動負債合計	79,004	88,979
固定負債		
長期借入金	19,597	18,686
役員退職慰労引当金	5	5
訴訟損失引当金	721	717
退職給付に係る負債	9,038	9,204
その他	6,729	7,818
固定負債合計	36,091	36,432
負債合計	115,095	125,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,455	8,455
利益剰余金	105,090	105,606
自己株式	△1,594	△1,594
株主資本合計	121,199	121,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,528	12,620
為替換算調整勘定	19,250	20,501
退職給付に係る調整累計額	2,436	2,394
その他の包括利益累計額合計	32,215	35,517
非支配株主持分	2,635	2,447
純資産合計	156,051	159,680
負債純資産合計	271,147	285,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	57,943	66,165
売上原価	38,453	44,758
売上総利益	19,489	21,406
販売費及び一般管理費	15,541	17,538
営業利益	3,948	3,868
営業外収益		
受取利息	22	7
受取配当金	267	291
持分法による投資利益	79	113
為替差益	—	135
その他	144	168
営業外収益合計	514	716
営業外費用		
支払利息	148	273
為替差損	276	—
その他	19	66
営業外費用合計	445	340
経常利益	4,017	4,244
特別利益		
固定資産売却益	5	88
投資有価証券売却益	—	63
補助金収入	—	281
特別利益合計	5	434
特別損失		
固定資産処分損	10	12
固定資産圧縮損	—	272
訴訟損失引当金繰入額	62	—
特別損失合計	73	284
税金等調整前四半期純利益	3,950	4,394
法人税、住民税及び事業税	567	754
法人税等調整額	352	189
法人税等合計	919	943
四半期純利益	3,030	3,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	204
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,833	3,245

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,030	3,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△248	2,091
繰延ヘッジ損益	5	—
為替換算調整勘定	△3,282	1,251
退職給付に係る調整額	10	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△176	82
その他の包括利益合計	△3,690	3,384
四半期包括利益	△660	6,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△753	6,547
非支配株主に係る四半期包括利益	93	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
香料事業 (注) 3	19,923	14,964	10,019	12,683	57,591	—	57,591
顧客との契約から生じる収益	19,923	14,964	10,019	12,683	57,591	—	57,591
その他の収益 (注) 4	351	—	—	—	351	—	351
外部顧客への売上高	20,275	14,964	10,019	12,683	57,943	—	57,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,016	174	1,000	143	5,334	△5,334	—
計	24,291	15,138	11,020	12,826	63,277	△5,334	57,943
セグメント利益	888	548	756	1,727	3,921	27	3,948

(注) 1. セグメント利益の調整額27百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額129百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額0百万円、その他△102百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
香料事業 (注) 3	21,373	16,868	12,812	14,760	65,814	—	65,814
顧客との契約から生じる収益	21,373	16,868	12,812	14,760	65,814	—	65,814
その他の収益 (注) 4	351	—	—	—	351	—	351
外部顧客への売上高	21,724	16,868	12,812	14,760	66,165	—	66,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,200	223	1,114	106	4,644	△4,644	—
計	24,925	17,091	13,926	14,867	70,810	△4,644	66,165
セグメント利益	1,076	149	651	2,170	4,047	△179	3,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△179百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額165百万円、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△219百万円、その他△125百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 香料事業はフレーバー、フレグランス、アロマイングリディエント、ファインケミカルの製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

4. その他の収益は、その他不動産事業に係る賃貸収入等で構成されております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,018百万円	2,519百万円